

12/29
木

シリーズ

強化される 米軍・自衛隊基地

福岡・京築平和委員会事務局長

徳永克子行橋市議

航空自衛隊築城（つじき）基地（福岡県行橋市、みやこ）築上町）は、米海兵隊那国基地（三口県那国市）の一番目の代々基地になっています。



米軍が戦争を始め、岩国

基地が攻撃されるなどして使えないなら、築城基地を使おうとしている。本当に岩国が使えないなら、3機では済まない多數の米軍機がきて、築城から出撃するという状況をつくり出しているとしています。

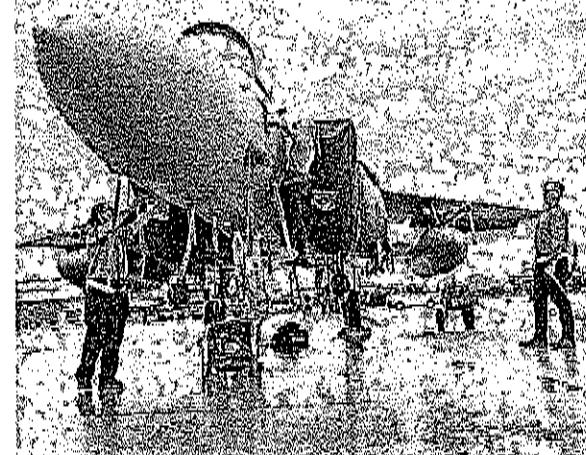
昨年11月に行われた日本米軍演習「キーン・ソード23」で陸上自衛隊の最新型の機動戦闘車が、熊本から公道を走り築城墓地に入つて航空自衛隊の

闘機12機、輸送機1機、兵士200人を受け入れられる米軍施設を建設することが発表されました。庄島は一棟の予定が2棟に増え、うち一棟は自衛隊との共用で地下化され、そこに指揮所機能を持つ事務所を整備することになります。滑走路も2400㍍から2700㍍に延長し、米軍の大型輸送機が着陸でき、全ての米軍機が使用できる基地に強化しようとっています。日米共同どうとか、完全に米軍に乗っ取られるのではないかという状況です。

輸送機で沖縄の与那国島に搬入された。築城基地から、軍事要塞（ようさい）化が狙われています。本当に岩国が使えない南西諸島に、必要なものはどうやら送っていくべき役割をもっているのではないかと感じています。

電磁バルス攻撃対策も実施しています。日米一体で進む「戦争国家づくり」に対し、築城基地の米軍基地化・出撃拠点化を許さないたたかいを、九州・南西諸島の軍事要塞化を許さない各地のたたかいと連帯して強めていきたいと思います。

今年7月には、米空軍



ノーザン・エッジ23-2で飛来したF15E戦闘爆撃機=7月11日、福岡県・築城基地（米国防総省映像情報配信サービスDVIDS）